

地域と世界を 知り、未来を あなたらしく表現

する。

Faculty of Art and Regional Design

芸術地域 デザイン学部

芸術地域デザイン学科

▶ 芸術表現コース

▶ 地域デザインコース

芸術地域デザイン学科 地域デザインコース

今村 葵 福岡県 伝習館高等学校出身

高桑 正誠 福岡県 明善高等学校出身

〈学部の特色〉

芸術地域デザイン学部では、芸術を通して地域創生に貢献する人材の養成を行います。本学部における芸術とは、作品の制作やモノのデザインのことだけを指すわけではなく、美術館や博物館における専門的な仕事や文化財の保護と展示も芸術の範ちゅうに含まれると考えます。現代では、まちづくりや地域おこしを行う自治体、マスコミ・TV局、企業、販売、観光などの場面や職種で、芸術的な視点が求められます。本学部では、そのような場で必要とされる芸術的な手法や感性を磨けます。つまり人やモノを芸術や芸術的な手法によってつなぎ、地域の活性化や国際化などに貢献できる人材を育成します。また、作家、デザイナー、そして教員を志望する人への教育も熱心に行います。本学部で学べる専門分野は、芸術の表現や理論はもちろんですが、歴史、国際関係、考古学、地理学、都市デザイン、異文化コミュニケーションなど人文科学、社会科学のさまざまな分野にわたっています。

■ 教育目的

芸術地域デザイン学部は、創造性や高い技能を持ち、新しい芸術表現を実現できる人材、また、地域が有する問題や状況に芸術を手段として柔軟に対応し、芸術を社会に紹介したり、芸術で社会を活性化したりできる人材の養成を目的とします。

■ 在学生インタビュー



作品を作りながら展覧会を開催。
将来は、自由に絵を楽しめる地域づくりを。

幼いころから絵に関心があり、中学・高校と創作を続けてきました。その中で、絵を描く人たちのコミュニティの魅力に気づき、次第に「描きたい人が自由に絵を描き続けられる環境づくり」を考えるようになり、本学部・本コースに進学しました。入学してからは、授業に取り組む一方で学生団体を立ち上げ、4回の作品展示を行いました。地域のカフェなどで開催しましたが、自分が求めているコミュニティを地域に作ることができ、とてもうれしかったです。作品制作のプロセスを展覧会などに応用できるようになったことも、成長の一つです。入学時から思い描いている地域づくりに、一歩ずつ近づいていると思います。

芸術地域デザイン学科 芸術表現コース
園田 一馬 佐賀県 佐賀北高等学校出身

インタビュー動画も
ご覧いただけます



地域を知り、芸術でつなげる 作品や企画を世界に向けて発信

01 多彩な表現が学べるカリキュラム

1年次は芸術表現と地域デザインの分野を超えたクロス型学習に学生全員で取り組みます。芸術に関わることを幅広く学び、芸術的感性を持つマネジメント人材、マネジメントを理解できる表現者を育てます。2年次より専門分野の実習科目を学びの柱にしていきます。3年次には専門分野を深めながら、有田キャンパスプロジェクトや国内外芸術研修などで、地域社会の中でより実践的なことを行い、専門分野を社会の中に生かす力を養います。



02 芸術で世界をひらく ～有田キャンパスから世界へ、世界から有田キャンパスへ～

芸術地域デザイン学部は主にドイツ、オランダ、イタリア、アルメニア、リトアニア、韓国、インドネシア等の教育・研究機関と学術・文化交流を実施し、交換留学制度を設けています。特に有田キャンパスでの交換留学プログラムSPACE-ARITAは、ドイツのブルク・ギービヒェンシュタイン芸術デザイン大学ハレやオランダのアイントホーフェンデザインアカデミーから交換留学生を多く受け入れています。留学生にとって有田は、400年の歴史に裏打ちされた陶磁器生産技術や文化からインスパイアされる刺激と共に、自身が求めているデザインを実現できる場所となっており、帰国後は有田で制作した作品をミラノデザインウィーク、アンビエンテなどに出品し大きな成果を残しています。この交換留学制度は、留学生の学びの場であると同時に、留学生との交流を通して国外への興味関心に繋げる、本学学生にとっても良い機会となっています。



03 地域創生の実践—表現から文化財の保存まで

地域にある資源をどのように活用すれば地域創生につながるのかを、実際にフィールドワークを行って研究していきます。地域の協力を得て、地域資源を生かした企画を展開し、それらの活動を情報発信する手法も学びます。また、存在を世間に伝えて文化財として保存していく活動など、芸術的観点からの地域創生のための活動を行います。

地域創生フィールドワーク

学生がチームを組み、地域の地理や文化・芸術資源を継続的に調査し、フィールドワークの能力を育成します。



興賀神社 三十六歌仙絵馬の復元模写とそのためのリサーチを、神社、地域と連携のうえ進める。	学生企画展の変遷と意義 65年にわたる学生企画展を調査・展示。学生たちの活動をアーカイブ化。	吉野ヶ里 吉野ヶ里歴史公園等の文化資源・場所を活かした活動。	旧長崎街道 佐賀市中心市街地を横切る長崎街道を広く知ってもらうための展示を実施。	SAGA ART WEEK 卒業制作展にあわせ佐賀市内の美術館・ギャラリー等の情報を集約して発信。
--	--	--	--	---

作品紹介

ミクストメディア



night sea journey ミクストメディア
宇野 のどか 大分県 芸術緑丘高等学校出身

日本画



今日の絵 展示風景
廣嶋 美文 熊本県 必由館高等学校出身

コンテンツデザイン



はぐし水の三重点でピボット
インスタレーション、サイズ可変
遠藤 梨夏 福岡県 筑紫丘高等学校出身

映像デザイン



夢裡
シングルチャンネル映像 (HD、ステレオ、カラー)、10min
楠田 亜衣乃 佐賀県 佐賀北高等学校出身

有田セラミック



たおる
陶土、手びねり
西岡 彩那 福岡県 福岡講倫館高等学校出身

施設紹介



有田エントランスギャラリー(有田キャンパス)
授業成果や学生たちの自由な制作発表の場として活用され、毎年3月には卒業生・修了生の作品を展示し、地域住民も訪れる開放された空間となっています。



メディア収録演習室(本庄キャンパス)
4K撮影スタジオにおいて、合成映像やモーションキャプチャによるバーチャルプロダクションの研究を行っています。



福岡県庁 文化振興課 九州芸文館 勤務
小林 愛恵さん
芸術地域デザイン学科 地域デザインコース
2020年3月卒業

【業務内容】
会場の設営立ち合い、広報物の校正、展覧会のイベント運営や企画など、展覧会開催に関わる全般に取り組む。

学生時代に積み重ねた経験を活かして 考えた企画をしっかりと実現できる人になりたい。

現在は福岡県庁文化振興課の学芸員として、筑後市の九州芸文館で年3回行われる展覧会を担当しています。学生時代に授業やゼミで展覧会やアートプロジェクトに携わり、本番までの段取りや現場での動き方、そして自分で考える力をつけられたことが、現在の仕事にも大きく影響していると思います。学生時代に特に思い出に残っているのは、佐賀県武雄市の武雄温泉物産館を中心に各地を巡るツアー型展覧会「武雄かくれ伝説」を行ったことです。学生アーティストや企業と連携した企画で、立ち上げも含めた本格的な運営は初めてだったこともあり不安もありましたが、最後までやり遂げられたことは自信につながりました。今後は芸術に限らず他分野にも視野を広げ、自分の考えと照らし合わせて企画に反映し、そのたびに浮上する課題と向き合って改善していくことで、多くの人がハッとするような企画を作れる人になりたいです。





詳細情報はこちら

制作活動に没頭する日々
将来は陶芸家になり
心地よい器を作りたい

高校時代から陶芸に興味があり、陶磁器の一大産地・有田で知識や技術を身につけたいと、進学を希望しました。素晴らしい設備と、広く学ぶことのできるカリキュラムも魅力でした。1年次に絵画や工芸など様々な分野の基礎を学びましたが、2年次に自分の専攻に分かれてからも、その学びが活動の中で活かされています。現在は、磁器土を用いたロクロ成形と石膏型による造形表現を中心に学んでいます。同じ専攻の友人と意見交換をしながら制作を進め、各自が時間外でも自分の課題と向き合い、またレベルの高いものを作ろうと日々頑張っています。将来は陶芸家になり、日々の生活の中で自然に手に取られるような、心地よい器づくりをしたいと考えています。そのためにも、好きなロクロ成形に一層力を入れて取り組んでいます。

芸術地域デザイン学科 芸術表現コース
秋 貞 陽 山口県 野田学園高等学校出身

美術・工芸分野

「手わざ」を基礎にして、オリジナリティのある表現力を養成します。日本画、西洋画、彫刻、視覚伝達デザイン、漆・木工芸、染色工芸、ミクストメディアから適性に合わせて専門分野を選択し、表現や技術を学びます。描くこと、作ることを通した表現力の養成は、70年以上続く美術・工芸教室の伝統です。

有田セラミック分野

“やきもの”を産業・文化・表現・科学などさまざまな角度からとらえ、伝統的であると同時に革新を伴う時代に強くアピールできるもの作りを探索します。日本における陶磁教育の先駆的役割を果たした有田窯業大学校から移行した国内最高クラスの施設環境の中で、国際的な陶磁教育とセラミック研究により、専門性の高い人材を養成します。

主な進路

〈就職先〉

●美術家 ●レベルファイブ ●オリックス ●ハウス食品 ●ゼネラルアサヒ ●トッパングラフィックコミュニケーションズ ●ブレイン ●旭製作所 ●ノアデザイン ●ダイワ化成 ●福岡銀行 ●香蘭社 ●李荘窯業所 ●中川政七商店 ●福博印刷 ●Cygames ●旭化成リフォーム ●武田メガネ ●不二貿易 ●丹心窯 ●佐賀県庁 ●佐賀県教育委員会 ●福岡市教育委員会 ●宇城市教育委員会 ●佐賀県内ならびに九州各県の中学校、高等学校、特別支援学校など

〈進学先〉

●佐賀大学大学院
●University of the Arts London/Camberwell College of Arts

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養 教育科目	大学入門科目	共通基礎科目「英語」			
		共通基礎科目「情報リテラシー」			
		基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
		インターフェース科目			
専門 教育科目	学部共通科目	学部共通コア科目 ●地域デザイン基礎 (デザイン、キュレーション、フィールドワーク) ●芸術表現基礎(絵画、彫刻、工芸) ●デザイン発想論 ●職業キャリア論 ●マーケティング論 ●アートマネジメント ●Key Concepts in Art	●芸術文化・地域創生論 (国内外地域プロジェクト事例研究) ●知的財産権学 ●地域再生デザイン学 ●アートと科学	学部共通コア科目 ●有田キャンパスプロジェクトI・II ●地域創生フィールドワークI・II ●国内外芸術研修	
	基礎科目	●芸術表現A(日本画、西洋画、彫刻) ●芸術表現B(窯芸、染色工芸、漆・木工芸) ●美術史基礎 ●図法	●工芸理論 ●現代美術概論 ●アートマーケティング論 ●デザイン基礎		
	美術・工芸	●日本画I・II ●彫刻I・II ●染色工芸I・II ●漆・木工芸I・II ●日本画概論 ●漆・木工芸概論 ●西洋画基礎 ●製図 ●映像デザインI ●コミュニケーションデザイン論 ●コミュニケーションデザイン演習	●西洋画I・II ●ミクストメディアI・II ●視覚伝達デザインI ●金属工芸I ●彫刻概論 ●窯芸基礎 ●染色工芸基礎 ●コンテンツデザインI ●情報デザインI ●材料学 ●応用木工芸	●日本画III ●彫刻III ●染色工芸III ●漆・木工芸III ●西洋画概論 ●彫刻基礎 ●漆・木工芸基礎 ●地域ブランディング論 ●メディアアート論 ●インターンシップ	●卒業研究I・II
	有田セラミック	●陶磁成形技法I・II ●ロクロ成形I・II ●石膏型成型特別演習 ●陶磁特別演習I ●セラミック科学演習 ●セラミック焼成 ●世界の中の肥前陶磁器	●装飾技法I・II ●石膏型成型I・II ●釉薬化学I ●陶磁史 ●セラミック原料化学 ●衣食住文化論 ●食と器	●陶磁成形技法III ●ロクロ成形III ●陶磁技法特別演習II ●釉薬化学II ●セラミック科学演習 ●CAD/CAM I・II ●陶磁マーケティング	●卒業研究I・II

授業紹介

芸術表現A・B



美術や工芸全体の基本を広く学ぶことを目的としています。Aは日本画や西洋画、彫刻について、Bは染色工芸や窯芸、漆・木工芸について学びます。

デザイン発想論



表現全般に関わる幅広い基礎力を育みます。思考法・表現力・創造力を磨き、さまざまなコンテンツの発掘・企画につなげるための基礎を養成します。

陶磁特別演習I・II



有田を代表する十四代今泉今右衛門先生や十五代酒井田柿右衛門先生の作品に対する考え方、伝統についての話を聞き、自身の作品作りを見つめます。

分野紹介

ミクストメディア

柳 健司 教授



芸術という枠を越えて、多種多様な思想や様式が展開される現代美術において、素材や技法にとらわれない個性を重視した、新たな表現の可能性を探索します。

漆・木工芸

井川 健 准教授



漆や木の基本技法を学び、素材との関わりの中で自分の表現を見つけていきます。用途あるものから造形作品まで、モノを作ることを通してさまざまな事を習得します。

日本画

近藤 恵介 准教授



「日本画」が歴史の経緯において獲得した視点や技術を絵画制作を通して学び、基礎に据え、認識をほぐしながら今日の絵画表現を模索します。

窯芸・装飾成形

甲斐 広文 准教授



単に技術を学ぶだけでなく、なぜそうするのかを自ら考えながら本質を探っていきます。伝統に学びながら、現代の感性で新たな“ものづくり”を目指します。

教員紹介

井川 健 准教授
漆・木工芸

甲斐 広文 准教授
窯芸・装飾成形

近藤 恵介 准教授
日本画

世利 幸代 准教授
視覚伝達デザイン

田中 右紀 教授
窯芸

徳安 和博 教授
彫刻

鳥谷 さやか 准教授
染色工芸

三木 悦子 准教授
窯芸・プロダクトデザイン

柳 健司 教授
ミクストメディア

湯之原 淳 准教授
窯芸・造形



詳細情報はこちら

地域でのフィールドワークに
初めてのアメリカンフットボール
動くことで得た知識や経験は大きい



最初は建築関係に興味がありましたが、大学のオープンキャンパスなどを通して、地域創生やまちづくりに興味があることに気づき、地域デザインコースへの進学を決めました。中でも私はフィールドデザイン分野を専攻しており、さらにはゼミでも地域創生関連の活動を行うゼミに所属しています。実際にフィールドワークで現地に行き、課題を見つけ、その解決策を考えていきますが、現地に行くことで地域の特色や課題を肌で感じ、住民の方々と距離感が近くなるのが、とても好きです。部活動ではアメリカンフットボール部に所属。大学から始めたスポーツですが、先輩・後輩・同期に恵まれて、スポーツの楽しさ・仲間たちと助け合いながら何事もあきらめないことの大切さを学びました。将来は公務員になり、大学生活で得た地域創生の知識・経験を役に立てたいと考えています。

芸術地域デザイン学科 地域デザインコース
中川 磨一 熊本県 熊本高等学校出身

地域コンテンツデザイン分野

デジタルメディアやテクノロジーを効果的に生かして、地域資源をコンテンツ化し芸術やデザインとして提案ができる人材を育成します。デザインの理念や技能と共に、発想力・表現力・企画力・行動力などを伴ってローカル・グローバルを問わず社会に貢献できる力を身に付けます。

キュレーション分野

芸術のみならず、経営、保存科学、歴史学などの知識やスキルを駆使して、地域の遺産や資料を保護・管理したり、それらを活用した企画・運営に携わる人材を養成します。学芸員やキュレーター、ギャラリストなどの養成も目指します。

フィールドデザイン分野

まちづくりなどの地域創生のために国内外で活躍する人材を養成します。地理学、都市デザイン、文化財保護、経営などの知識を生かし、自治体や企業、マスコミなどで活躍する人材の養成にも力を入れます。

主な進路

〈就職先〉

●株式会社ユニクロ ●株式会社良品計画(無印良品) ●株式会社オカムラ ●株式会社岩田屋三越 ●株式会社電通九州 ●総合警備保障株式会社 ●株式会社レベルファイブ ●株式会社Cygames サイゲームス ●日本郵便株式会社 ●株式会社再春館製薬所 ●株式会社スチームシップ ●JR九州エージェンシー株式会社 ●東映株式会社 ●関家具 ●大創産業 ●旭化成ホームズ ●日本赤十字社 ●パルコ ●九州電力 ●モノゾフ ●カメラのキタムラ ●防衛省九州防衛局 ●九州管区行政評価局 ●佐賀県庁 ●朝倉市役所 ●大野城市役所 ●那珂川市役所 ●小城市役所 ●柳川市役所 ●神埼市役所 ●美術家など

〈進学先〉

●東京藝術大学大学院 ●慶應義塾大学大学院 ●佐賀大学大学院

カリキュラム一覧

		1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目		大学入門科目			
		共通基礎科目「英語」			
		共通基礎科目「情報リテラシー」			
		基本教養科目(自然科学と技術、文化、現代社会)			
		インターフェース科目			
専門教育科目	学部共通科目	学部共通コア科目 ●地域デザイン基礎(デザイン、キュレーション、フィールドワーク) ●芸術表現基礎(絵画、彫刻、工芸) ●デザイン発想論 ●デジタル表現基礎 ●風土と地理学 ●職業キャリア論 ●マーケティング論 ●文化経済論 ●アートマネジメント ●比較オリエンタリズム研究 ●Key Concepts in Art ●芸術と観光	●芸術文化・地域創生論 (国内外地域プロジェクト事例研究) ●知的財産権学 ●地域再生デザイン学 ●アートと科学	学部共通コア科目 ●有田キャンパスプロジェクトI・II ●地域創生フィールドワークI・II ●国内外芸術研修	
	コース基礎科目	●博物館概論 ●ランドスケープ ●美術史基礎 ●観光学概論	●地域再生論 ●コミュニティビジネス ●Intercultural Communication and Art I ●地域情報マネジメント演習 ●経営・流通演習I ●フィールドデザイン演習I ●視覚伝達デザインI ●エリアスタディ演習I ●情報デザインI ●コンテンツデザインI ●映像デザインI ●ヘリテージマネジメント論	●地域マネジメント論	
	地域デザイン		●デザインプロジェクト演習 ●地域ブランディング演習 ●コミュニケーションデザイン論 ●メディアアート論 ●コミュニケーションデザイン演習 ●メディアアート演習 ●地域ブランディング論	●コンテンツデザインII・III ●情報デザインII・III ●映像デザインII・III ●インターンシップ ●メディアプレゼンテーション ●デザイン実践セミナー	●卒業研究I・II
	キュレーション	●マーケティング論	●キュレイトーリング基礎 ●博物館経営論 ●博物館資料論 ●博物館展示論 ●博物館資料保存論(芸術と倫理を含む) ●博物館情報・メディア論 ●博物館学内実習 ●美術史I・II・III ●博物館教育論 ●工芸理論 ●美術史演習 ●キュレイトーリング応用I ●アートプロデュース論 ●アートプロデュース演習I ●現代美術概論	●博物館学外実習 ●アートマネジメント特別講義 ●アートプロセス演習II ●キュレイトーリング応用II ●ヘリテージサイエンス ●インターンシップ	●卒業研究I・II
	フィールドデザイン	●考古学I	●考古学II・III ●アーカイブス論 ●考古学演習I・II ●都市空間論I ●地域史論I・II ●都市・地域空間史 ●陶磁史 ●考古学実習I(室内) ●ヘリテージマネジメント演習 ●製図 ●文化財の保存と活用 ●アートマーケティング論 ●Critical Studies in Language and Image I・II・III ●Intercultural Communication and Art II・III	●考古学IV ●地域史論III ●古文書解読演習 ●都市空間論II ●フィールドデザイン演習II ●博物館の政治学 ●エリアスタディ演習II ●考古学実習II(野外) ●地域史演習	●地域調査分析 ●地誌学 ●経営・流通演習II ●Art in Context ●インターンシップ ●卒業研究I・II

授業紹介

映像デザイン



映像言語と時間や空間をデザインする新たな映像表現まで学びます。スキル修得だけでなく、映像による自己の表現方法を模索した作品づくりを目指します。

Art in Context



アートと社会の関係を国内外の歴史的遺構や遺物を実現したり、アートプロジェクトの実例を実地で体験することで学び、地域創生に対する意識を高めます。

博物館実習



美術品の保存修復や文化財の保護についての理念、法制度のほか、佐賀大学美術館で展示などを学び、キュレーターとしての基礎力を身に付けます。

研究室・ゼミ紹介

博物館資料保存



石井 美恵 准教授
美術品の価値や保存について実資料を用いて学びます。

地域マーケティング

山口 タ妃子 教授
地域活性化をマーケティングにおける「地域ブランド」という視点から考察。特にゼミでは地域に実際にフィールドワークの中から地域課題を発見し、解決策を模索していきます。

都市デザイン

有馬 隆文 教授
人間が快適かつ安全に暮らせる環境を提案するため、都市の成り立ちを理解し人々の活動を読み取り、次世代に継承される都市のデザインを追求していきます。

美術史



吉住 磨子 教授
作品、制作者、注文主、受容者、作品を生み出した社会全体、技法や材料など、既にある美術の多岐にわたる研究を行って学んでいきます。

教員紹介

阿部 浩之 准教授

情報デザイン

石井 美恵 准教授

博物館資料保存

重藤 輝行 教授

考古学

中村 隆敏 教授

映像デザイン

藤井 康隆 准教授

博物館学

山崎 功 教授

アジア研究・国際関係

HOUGHTON STEPHANIE ANN 教授

異文化間コミュニケーション

有馬 隆文 教授

都市デザイン

栗林 賢 准教授

地理学

土屋 貴哉 准教授

コンテンツデザイン

花田 伸一 准教授

アートプロデュース

山口 タ妃子 教授

マーケティング

吉住 磨子 教授

美術史